

令和 2 年度実績に係る部局評価書

【目 次】

区 分	頁 数	部 局 名
文 系	P.1	文学部・文学研究科
	P.2	人間科学部・人間科学研究科
	P.3	外国語学部
	P.4	法学部・法学研究科
	P.5	経済学部・経済学研究科
	P.6	言語文化研究科
	P.7	国際公共政策研究科
理 系	P.8	理学部・理学研究科
	P.9	医学部・医学系研究科
	P.10	医学部・医学系研究科（保健学）
	P.11	歯学部・歯学研究科
	P.12	薬学部・薬学研究科
	P.13	工学部・工学研究科
	P.14	基礎工学部・基礎工学研究科
	P.15	情報科学研究科
	P.16	生命機能研究科
	P.17	連合小児発達学研究科
研究所・センター	P.18	微生物病研究所
	P.19	産業科学研究所
	P.20	蛋白質研究所
	P.21	社会経済研究所
	P.22	接合科学研究所
	P.23	核物理研究センター
	P.24	サイバーメディアセンター
	P.25	レーザー科学研究所

令和2年度実績に係る部局評価書

文学部・文学研究科

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・部局独自の「外国語力に関する状況調査」が功を奏したと考えられる。今後も、積極的な取組を期待する。
【研究】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・着実な取組を実施しており、順調に進捗している。
【社会貢献】	C	年度計画の達成のためには重大な改善事項がある。
		・共同研究の受入実績は評価するものの、成果指標（受入金額）の実績値により判断した。 ・学内の支援体制を積極的に活用し、今後の向上に期待したい。
【グローバル化】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・コロナ禍の困難な状況の中、様々な取組を実施し、限りなく目標値に近い数値を達成できたことは、評価できる。
【業務運営】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・女性限定公募は本学においても画期的な取組であり、また結果にも繋がっていることは、非常に高く評価できる。 ・女性研究者比率、女性研究者数ともに増加しており、特に女性研究者比率が前年度に引き続き30%を超えていることは、注目に値する。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和2年度実績に係る部局評価書

人間科学部・人間科学研究科

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・様々な取組を実施し、目標値を大幅に上回ったことは、大いに評価できる。
【研究】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・大阪大学ユネスコチェア「Global Health and Education」のネットワークを通じて、新たな国際共同研究を開始するなど、研究活動の国際化に資する取組は、高く評価できる。
【社会貢献】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・目標値は達成されていないものの、前年度の実績値を大きく上回っていることは、評価できる。
【グローバル化】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・目標値は達成されていないものの、コロナ禍の影響を考慮した実績値としては、評価できる。
【業務運営】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・目標値を大幅に上回っており、大いに評価できる。 ・育児休業中の代替要員として特任准教授を採用するなどの取組は、注目に値する。 ・長期的なプランを公にしつつ検討していることは、高く評価できる。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和2年度実績に係る部局評価書

外国語学部

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・コロナ禍においても、堅実な取組を実施しており、順調に進捗している。
【研究】		—
【社会貢献】		—
【グローバル化】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・目標値には達していないものの、学生支援のため、オンラインを活用した取組を実施していることは、大いに評価できる。
【業務運営】		—

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和2年度実績に係る部局評価書

法学部・法学研究科

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・着実な取組を実施しており、順調に進捗している。
【研究】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・競争的資金の獲得額・件数は、目標値には達していないものの、獲得金額は前年度実績からは大きく増加しており、評価できる。
【社会貢献】	C	年度計画の達成のためには重大な改善事項がある。
		・社会貢献のあり方は評価できるものの、評定は成果指標の実績値に基づき、判断した。
【グローバル化】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・目標値は下回っているものの、コロナ禍においても、様々な施策を実施しており、努力は評価に値する。
【業務運営】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・女性研究者の割合を大きく増加させたことは、非常に高く評価できる。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和 2 年度実績に係る部局評価書

経済学部・経済学研究科

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・目標値には達していないものの、様々な取組を実施しており、評価に値する。 ・コロナ禍による受験者数の減少など、数値の伸び悩む要因を検証し、さらなる向上を期待する。
【研究】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・論文数は前年度実績から減少しているものの、競争的資金の獲得額は大きく増加しており、評価できる。
【社会貢献】	B	年度計画の達成状況が不十分である。
		・数値向上のための取組は評価に値するが、評定は成果指標の実績値に基づき、判断した。
【グローバル化】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・コロナ禍における困難な状況であるにも関わらず、目標値に限りなく近い実績値を示したことは、評価に値する。
【業務運営】	B	年度計画の達成状況が不十分である。
		・魅力ある組織構築を進展させていることは注目に値するが、評定は成果指標の実績値に基づき、判断した。 ・若手教員割合の減少傾向の歯止めに向けて、人事委員会等による取組みの成果が現れることを期待する。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和 2 年度実績に係る部局評価書

言語文化研究科

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・ 目標値を大幅に上回る実績値となっており、高く評価できる。
【研究】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・ 目標値は下回っているものの、コロナ禍でフィールドに出られないことなど、総合的に判断した。
【社会貢献】	B	年度計画の達成状況が不十分である。
		・ 新キャンパスや地域性を活かして、今後のさらなる向上を期待したい。
【グローバル化】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・ 目標値は下回っているものの、コロナ禍の困難な状況にも関わらず、目標値に限りなく近い実績を示したことは、評価できる。
【業務運営】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・ 着実な取組を実施しており、順調に進捗している。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和 2 年度実績に係る部局評価書

国際公共政策研究科

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・目標値には達していないものの、全学でもトップクラスの極めて高い語学力を有していることは、非常に高く評価できる。
【研究】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・目標値は下回っているものの、競争的資金の獲得額は前年度実績から大きく増加しており、評価できる。 ・一方、国際共同研究の促進や、異分野融合研究の支援に関しては、自己評定の通り、課題を見極め、進めていただきたい。
【社会貢献】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・目標値を上回る成果が出ており、引き続き、積極的な研究費の受入を期待する。
【グローバル化】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・コロナ禍における困難な状況であるにもかかわらず、目標値に近い実績値を示したことは、評価に値する。 ・オンラインを活用した積極的な施策を行っており、大いに評価できる。
【業務運営】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・若手教員の割合について、目標値を上回っており、若手教員を積極的に採用したことは、評価できる。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和2年度実績に係る部局評価書

理学部・理学研究科

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・概ね目標値を達成しており、順調に進捗している。
【研究】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・着実な取組を実施しており、順調に進捗している。
【社会貢献】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・受入金額を教員業績評価項目とするなどの取組は評価するものの、評定は成果指標の実績値に基づき、判断した。
【グローバル化】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・コロナ禍において、オンラインを活用したバーチャル留学などの取組が実施されており、オンラインでの履修分を算入するとほぼ目標を達成していることは、注目に値する。 ・高い水準を継続的に達成していることは、非常に高く評価できる。
【業務運営】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・「女性科学者サミット」を開催し、ロールモデルの提示や環境醸成に取り組んでいるところであり、今後のさらなる取組の拡大に期待する。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和2年度実績に係る部局評価書

医学部・医学系研究科

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・目標値を達成しており、かつ、全学的に見ても高水準であることは、非常に高く評価できる。
【研究】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・競争的資金の獲得件数・金額は目標値を達成していないものの、競争的資金の獲得金額が前年度から大きく増加していること、論文数が高い水準であることは評価できる。
【社会貢献】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・目標値を大幅に上回るとともに、全学的にもトップクラスの実績であることは、非常に高く評価できる。
【グローバル化】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・コロナ禍の影響により、目標値には到達していないものの、オンライン留学に向けての取組は、注目に値する。
【業務運営】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・目標値は下回っているものの、前年度からの増加が見られることは、評価できる。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和2年度実績に係る部局評価書

医学部・医学系研究科（保健学）

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・目標値は下回っているものの、コロナ禍の困難な状況の中で、前年度実績から上昇していることは、評価できる。
【研究】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・論文数については、目標値を大幅に上回っており、高く評価できる。
【社会貢献】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・共同研究講座設置など、企業との大型共同研究を実施する体制を構築したことは高く評価できるが、評定は成果指標の実績値に基づき、判断した。
【グローバル化】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・コロナ禍により目標値を下回っているが、オンラインを活用した取組が評価できる。 ・目標に達していないが、プログラム締結に向けた積極的な取組が評価できる。
【業務運営】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・目標値は下回っているものの、前年度から増加していること、女性研究者比率が引き続き40%を超えていることは、評価できる。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和2年度実績に係る部局評価書

歯学部・歯学研究科

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・コロナ禍にも関わらず、目標値を上回っていることは、非常に高く評価できる。
【研究】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・論文数及び競争的資金の獲得金額は目標は達成しており、前年度から増加させていることは評価できる。
【社会貢献】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・目標値を上回っており、非常に高く評価できる。
【グローバル化】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・目標値は下回っているものの、コロナ禍のため海外派遣ができない中、オンラインでの様々な取組は、大いに評価できる。
【業務運営】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・目標値を上回るとともに、海外大学と複数のクロスアポイントメント協定を締結したことは、非常に高く評価できる。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和2年度実績に係る部局評価書

薬学部・薬学研究科

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・目標値を大幅に上回っており、全学的にもトップクラスの実績を示していることは、注目に値する。
【研究】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・様々な取組を実施し、論文数及び競争的資金の獲得金額が目標値を大幅に上回ったことは、高く評価できる。
【社会貢献】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・着実な取組を実施しており、順調に進捗している。
【グローバル化】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・コロナ禍において、目標値を上回っていることは、大いに評価できる。
【業務運営】	B	年度計画の達成状況が不十分である。
		・前年度割合を下回っており、コロナ禍ではあるが、工夫ある取組を求めたい。 ・中期的な若手教員採用計画の着実な実行を期待する。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和2年度実績に係る部局評価書

工学部・工学研究科

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・目標値を大幅に上回っており、かつ、前年度比でも増加しており、非常に高く評価できる。
【研究】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・着実な取組を実施しており、順調に進捗している。
【社会貢献】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・目標値を大幅に上回っており、かつ、学内トップの成果を上げており、非常に高く評価できる。
【グローバル化】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・コロナ禍の影響もあり、目標達成はできていないが、オンライン授業システムの整備、留学冊子の作成配布、海外インターンシップ科目の新設準備など、積極的な取組が見られ、非常に評価できる。
【業務運営】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・目標を達成するとともに、前年度比でも増加しており、非常に高く評価できる。 ・順調に若手教員割合は向上しており、テニユアトラック制度の活用に資する新しい仕組の検討も行っていることは、大いに評価できる。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和2年度実績に係る部局評価書

基礎工学部・基礎工学研究科

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・目標値を大きく上回っており、非常に高く評価できる。 ・「科学技術英語」や「イングリッシュ・ネット・アワー」など、優れた取組を実施しており、今後の成果を期待する。
【研究】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・概ね目標値を達成するとともに、研究力強化に向けた様々な取組を実施していることは、評価できる。
【社会貢献】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・様々な取組を実施していることは評価するものの、評定は成果指標の実績値に基づき、判断した。
【グローバル化】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・目標値を下回っているものの、オンラインでの様々な取組は優れており、総合的に判断した。 ・コロナ禍において、ダブルディグリープログラム協定締結に向けた取組は優れており、非常に高く評価できる。
【業務運営】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・着実な取組を実施しており、順調に進捗している。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和2年度実績に係る部局評価書

情報科学研究科

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・目標値は下回っているものの、前年度からの増加は、大いに評価できる。 ・オンラインTOEICテストを実施するなど、コロナ禍での様々な取組は、注目に値する。
【研究】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・数値目標は達成していないものの、大型資金の獲得や昨年度からの増加は、評価できる。
【社会貢献】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・着実な取組を実施しており、順調に進捗している。
【グローバル化】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・コロナ禍での困難な状況のため、目標値を大きく下回っているものの、オンライン国際会議の出席など積極的な取組が見られるため、その点を評価した。
【業務運営】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・概ね目標値を達成するとともに、高水準を継続的に維持していることは、高く評価できる。 ・女性研究者比率については、目標値が10%未満の設定であるため、より一層の努力に期待する。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和2年度実績に係る部局評価書

生命機能研究科

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・目標値を上回っており、全学の中で高水準にあることは、非常に高く評価できる。
【研究】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・論文数や競争的資金の獲得額は目標値を若干下回っているものの、全学の中でも高水準であることは、評価できる。
【社会貢献】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・様々な取組を実施し、目標値を大幅に上回ったことは、大いに評価できる。
【グローバル化】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・概ね目標値を達成しているとともに、様々なオンラインへの取組は、評価できる。
【業務運営】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・女性研究者比率について数値目標にはわずか（0.02％）に届いていないものの概ね達成できている。しかし、前年度から人数は増加しておらず、割合も減少していることを考慮した。 ・今後のさらなる取組を期待する。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和2年度実績に係る部局評価書

連合小児発達学研究科

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・コロナ禍においても、堅実な取組を実施しており、順調に進捗している。
【研究】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・競争的資金の獲得額・件数は目標値を達成しておらず、実績値も減少傾向にあるものの、論文数の増加や関連の取組を実施していることは評価できる。
【社会貢献】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・着実な取組を実施しており、順調に進捗している。
【グローバル化】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・コロナ禍においても、堅実な取組を実施しており、順調に進捗している。
【業務運営】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・前年度割合を下回っており、コロナ禍ではあるが、工夫ある取組を求めたい。 ・女性研究者比率が引き続き40%を超えていることは評価でき、今後のさらなる取組を期待する。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和 2 年度実績に係る部局評価書

微生物病研究所

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】		
		—
【研究】	SS	年度計画の達成状況が非常に優れている。
		・新型コロナウイルス感染症に係る研究を中心に、研究を進展させ、論文数を大幅に増加させたことは、非常に高く評価できる。 ・競争的資金を大幅に増加させ、件数、金額ともに大幅に目標値を上回っていることは、非常に高く評価できる。
【社会貢献】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・様々な取組を実施し、目標値を大幅に上回ったことは、大いに評価できる。
【グローバル化】		
		—
【業務運営】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・着実な取組を実施しており、順調に進捗している。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和2年度実績に係る部局評価書

産業科学研究所

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】		—
【研究】	S	年度計画の達成状況が優れている。 ・競争的資金について、件数は目標値を若干下回っているものの、金額に関しては前年度から大幅に増加させるとともに、目標値もを大幅に上回っていることは、高く評価できる。
【社会貢献】	S	年度計画の達成状況が優れている。 ・目標値を大幅に上回っているとともに、全学の中でトップクラスの実績を示しており、高く評価できる。
【グローバル化】		—
【業務運営】	S	年度計画の達成状況が優れている。 ・目標値を達成するとともに、高水準の数値を継続的に維持しており、高く評価できる。 ・女性サミットの実施などの優れた取組は、注目に値する。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和2年度実績に係る部局評価書

蛋白質研究所

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】		
		—
【研究】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・数値目標は達成していないものの、若手研究者への異分野融合支援など積極的な取組などは高く評価できる。
【社会貢献】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・着実な取組を実施しており、順調に進捗している。
【グローバル化】		
		—
【業務運営】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・目標値や昨年度実績を大幅に上回っており、着実に成果を伸ばしている点は、非常に高く評価できる。 ・所内において、女性の積極的な雇用を重視し、各研究室から女性限定で優れた研究者を推薦してもらうなどの独自の取り組みを行っており、注目に値する。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和 2 年度実績に係る部局評価書

社会経済研究所

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】		
		—
【研究】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・ 様々な取組を実施するとともに、目標値を大幅に上回ったことは、高く評価できる。
【社会貢献】	C	年度計画の達成のためには重大な改善事項がある。
		・ 様々な取組を実施しており、その点は大いに評価できるものの、評定は成果指標の実績値に基づき、判断した。
【グローバル化】		
		—
【業務運営】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・ 着実な取組を実施しており、順調に進捗している。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和 2 年度実績に係る部局評価書

接合科学研究所

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】		
		—
【研究】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・競争的資金の獲得金額・件数は目標を達成していないものの、獲得金額や論文数を大幅に増加させていることは、評価できる。
【社会貢献】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・着実な取組を実施しており、順調に進捗している。
【グローバル化】		
		—
【業務運営】	S	年度計画の達成状況が優れている。
		・様々な取組を実施し、目標値を大幅に上回ったことは、大いに評価できる。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和 2 年度実績に係る部局評価書

核物理研究センター

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】		
		—
【研究】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・ 目標は達成していないものの、AVFサイクロトロンの実験停止による影響は理解でき、総合的に判断した。
【社会貢献】	A	年度計画の達成状況が良好である。
		・ 着実な取組を実施しており、順調に進捗している。
【グローバル化】		
		—
【業務運営】	B	年度計画の達成状況が不十分である。
		・ 様々な取組は大いに評価するものの、評定は成果指標の実績値に基づき、判断した。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和2年度実績に係る部局評価書

サイバーメディアセンター

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】		—
【研究】		—
【社会貢献】	S	年度計画の達成状況が優れている。 ・論文数や競争的資金の獲得金額は目標値を達成しており、競争的資金の獲得金額が前年度から大きく増加していることは、高く評価できる。
【グローバル化】	A	年度計画の達成状況が良好である。 ・着実な取組みについては評価できるものの、評定は成果指標の実績値に基づき、判断した。
【業務運営】	A	年度計画の達成状況が良好である。 ・「サイバーメディアセンターで活躍する女性研究者ロールモデル集」を活用した、次世代の女性研究者育成等の取組は、注目に値する。 ・様々な取組は評価できるものの、評定は成果指標の実績値に基づき、判断した。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。

令和2年度実績に係る部局評価書

レーザー科学研究所

項 目	評 定	コメント（評定に至った主な理由）
【教育】		—
【研究】		—
【社会貢献】	A	年度計画の達成状況が良好である。 ・競争的資金の獲得額・件数は目標値を達成していないものの、獲得額を大きく増加させていること、論文数を毎年度、着実に論文数を増加させていることは、評価できる。
【グローバル化】	A	年度計画の達成状況が良好である。 ・コロナ禍の影響を最小限に抑えようとしたことは評価できるものの、評価は成果指標の実績値に基づき、判断した。
【業務運営】	B	年度計画の達成状況が不十分である。 ・コロナ禍の困難な状況の中、クロス・アポイントメントに関する取組を実施したことは評価できるが、評価は成果指標の実績値に基づき、判断した。 ・今後の若手教員割合の向上に期待する。

※ 評定は「SS・S・A・B・C」の5段階評価である。